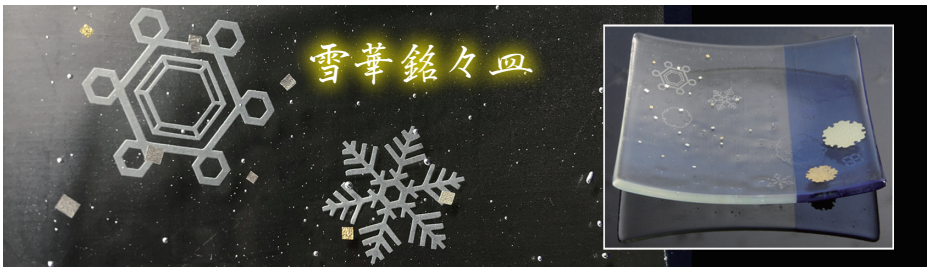
KAGAMI GLASS WORKS
#06/12
2019.12

各務ガラス工房　各務ひとみ　〒360-0031　埼玉県熊谷市末広 2-7　TEL&FAX　048-522-6192　info@kagami-glass.com

Xmas に寄せて

雪華紋―雪の殿さま土井利位

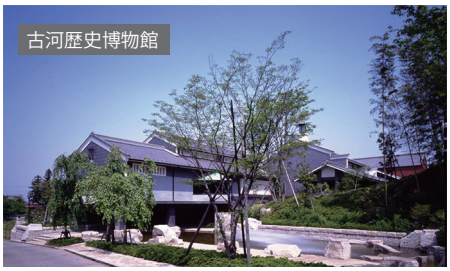
雪の結晶をモチーフにした雪華という文様があります。江戸後期に流行し、現在もさまざまな意匠に用いられています。しかし、雪の結晶はたやすく見られるものではありません。小さいし、すぐ溶けてしまうし。



では、誰が、こんな文様を考案したのか？　実は、考案したのではなく観察したのです。それもお殿様が。下総国古河藩七万石の藩主・土井利位（としつら）は、

オランダから取り寄せた顕微鏡を使って、20 年にわたり雪の結晶を観察、雪の結晶を「雪華」と命名して、その結果を『雪華図説』『続雪華図説』にまとめて出版します。この本は私家版で部数も少なかったのですが、鈴木牧之著『北越雪譜』で紹介されたことから、テキスタイルパターンとして世に広まります。そのため雪華紋は、土井利位の官名大炊頭（おおいのかみ）をとって「大炊模様」とも呼ばれます。

この殿様の研究について、世界で初めて人工雪の生成に成功した中谷宇吉郎は「『雪華図説』は当時の欧米の学者たちの雪の結晶の研究とくらべて、なんら遜色のない立派な研究なのであって、江戸時代の日本の科学が遺した業績の中でも特筆すべきものなのである」と絶賛しています。



ということで、雪の殿様のお膝元・古河市の歴史博物館に行ってきました。展示解説を読むと、『雪華図説の刊行には、古河藩家老で蘭学者であった鷹見泉石の果たした役割が大きいとありました。泉石といえば渡辺崋山の描いた肖像画が有名（国宝）。なるほど有能な家臣のおかげで利位も心置きなく雪華に取り組むことができたようです。

開催中　クリスマスオーナメントづくり

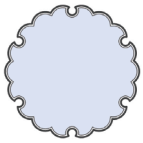
クリスマスツリーに欠かせないクリスマスオーナメント
たとえツリーがなくても壁にかけたり、身につけたり
ちょっと華やかになるガラスのオーナメント作りです。

★1 時間作り放題コース 3,500 円
※お子様一人と一緒でも 3,500 円！

★個別コース
ツリー　雪の結晶
サンタ　各 1,500 円

詳しくは

雪輪紋について



『雪華図説』以前から雪をモチーフにした雪輪という文様がありました。室町時代から使われているのですが、これは雪の結晶を描いたものではなく、丸いぼたん雪を図案化したもの。ただ、雪のことを「六花」ともいうので結晶が六角形であることは知っていたのかもしれません。